

『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!

伝わる2つのコツ!

通信やお便りを作る上で、色についてのテクニックや法則を今までお伝えしてきましたが、色を決める際、「明るい色」「淡い色」「くすんだ色」など、色の持つイメージを感覚的に捉えて色を認識していることが多いのではないのでしょうか?

どのようなイメージを持ってもらいたいのか、伝えたい相手に一目見てイメージができる印刷物が作れたら面白いですね! 普段何気なく使っている色は、ある**2つのポイント**を意識することで簡単にイメージを操作することが出来るんです!!

実は、色には「色合い」の他に「明るさ」と「鮮やかさ」があるのですが、この2つの違いをはっきり認識していない方も多いのではないのでしょうか? 今回はこの色の2つのポイントについてご紹介したいと思います。

色合い (色相)

「赤」「黄」「青」など、色の種類のこと。



ここから更に掘り下げると!

POINT 1

明るさ (明度)

同じ色合いでも、明るさを明るくすると「軽い」イメージ
暗くすると「重い」イメージ

低明度 高明度



POINT 2

鮮やかさ (彩度)

同じ色合いでも、鮮やかになると「活発な」イメージ
くすんでいくと「落ち着いた」イメージ

低彩度 高彩度 (原色)

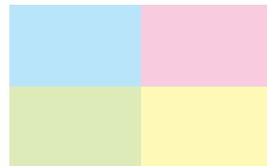


同じ明るさの灰色を原色に加えていく程、低彩度に

2つのポイントを意識して使うことで簡単にイメージを作り出せる!

与えるイメージ

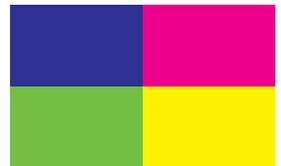
淡い・優しい
軽やか・清潔



明度が高い

与えるイメージ

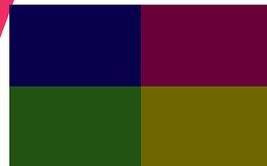
元気・明るい
目立つ・鮮やか



彩度が高い

原色の色合い

明度が低い



与えるイメージ

高級感・重い
固い・男性的

与えるイメージ

上品・レトロ
大人っぽい・深い

2つを活用!!

2つのポイントを知っていると、配色に迷ったときに、目立たせたい部分は彩度を高めにしたり、高級感を出したい場合は明度を低くするなど、色合い以外の部分に目を向けると、いつもと違った色の選択が出来るかもしれませんね。



デザインの種

今回のテーマ：
「簡単！イメージ操作！！」

理屈は分かったけど「いざ配色！」となると、複数ある色の中から彩度も明度も考えて思い描いた色を選び取るのは難しいと感じていませんか？そんな時はまず原色で色を決めると分かりやすいですよ。色自体にもイメージがあるので、ターゲットに合わせた色を選ぶといいですね。



このままでも良いですが、せっかくなので受け手があっと驚くオリジナルののし紙をデザインしてみましょー！！

女性らしく、かわいいイメージで優しい感じにしたいな〜



色を持つイメージ

- 赤: 熱い・情熱的 危険
- ピンク: 女性的・甘い 可愛い
- 紫: 高貴な・上品 大人っぽい
- 青: 静かな 澄んだ・寒い
- 緑: 安全・平和 爽やか
- 黄: 明るい・派手 注意
- オレンジ: 陽気・楽しい 暖かい
- 白: 純粋・軽い きれい
- 黒: シック・重い 高級

まずは原色のイメージを確認！

他にも・・・
上品で大人っぽいイメージに・・・

紫
高貴な・上品 大人っぽい
+低彩度
で
エレガントに！！

上品・高級 元気

← 同じ明るさの灰色を原色に加えていく程、低彩度に →

可愛くて優しいイメージに・・・

ピンク
女性的・甘い 可愛い
+高彩度
で
可愛く！！

固い 優しい

← →

イロイロ雑学

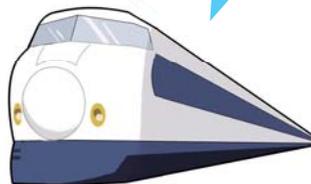
人間には、明るい色（高明度）ほど軽く感じ、暗い色（低明度）ほど重く感じてしまうと紹介しましたが、実はその錯覚を利用して、私たちの生活の一部に反映されている物があるんです！色の錯覚を上手く利用している身近な物を集めてみましたのでご紹介します。

引っ越しの段ボール
軽く感じる色で
業務効率を上げる



スポーツシューズ
軽く感じる色で
身体能力を上げる

新幹線
軽く感じる色で
速いイメージを作る



金庫
重く感じる色で
盗難を防ぐ



意識して見ると、至る所に色の心理効果が利用され、考えて作られているんですね！

色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを！

次回も Let's カラコミュ！！